フルリクライニング車椅子

ＲＪ－３６０

取　扱　説　明　書

この度は弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、この「取扱説明書」をご使用前に必ずお読みください。
尚、この「取扱説明書」には保証書が付いております。

取扱説明書の内容、及び保証書の内容がいつでも確認できるよう、大切に保管してください。

―　目次　―

〔１〕まえがき・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
〔２〕表示記号のご説明　・・・・・・・・・・・・・　２
〔３〕フルリクライニング車椅子ＲＪ－３６０について
〈３．１〉使用目的　・・・・・・・・・・・・・・　３
〈３．２〉特長　・・・・・・・・・・・・・・・・　３
〈３．３〉各部の名称　・・・・・・・・・・・・・　３
〔４〕ご使用前の準備
〈４．１〉背受けの固定方法　・・・・・・・・・・　４
〈４．２〉フットブレーキの確認・調整・・・・　６
〔５〕ご使用の前に
〈５．１〉安全上の注意　・・・・・・・・・・・・　７
〈５．２〉使用前点検　・・・・・・・・・・・・・　１１
〔６〕使用方法
〈６．１〉ステップの高さ・角度調整・・・・・　１２
〈６．２〉頭受けの調整・・・・・・・・・・・・　１４
〈６．３〉ブレーキ操作・・・・・・・・・・　１６
〈６．４〉リクライニング操作
（足受けの連動・単独の切り替え）・・　１７
〈６．５〉足受けの単独角度調節・・・・・　１９
〈６．６〉ステップ・足受けの収納操作・・　２０
〈６．７〉肘かけの高さ調節・・・・・・・・　２１
〈６．８〉段差乗り越え方法・・・・・・・・　２２
〈６．９〉車載方法・・・・・・・・・・・　２４
〔７〕日常のお手入れ
〈７．１〉お手入れ方法・・・・・・・・・・　２５
〈７．２〉日常点検・・・・・・・・・・・　２６
〈７．３〉消耗品・交換品・・・・・・・・　２７
〔８〕トラブルシューティング
（異常な場合の処理）・・・　２８
〔９〕ご使用期間と
アフターサービスについて・・・　２９
〔１０〕仕様・・・・・・・・・・・・・・・・　３０
保証書・・・・・・・・・・・・・・　３１

株式会社いうら

■本社・松山営業所
〒791-0214　愛媛県東温市南野田410番地6　TEL089(964)7770･FAX089(964)1522
■仙台営業所
〒984-0031　宮城県仙台市若林区六丁目柳堀8-1　TEL022(390)4605･FAX022(288)3690
■東京営業所
〒173-0014　東京都板橋区大山東町10-6　TEL03(5248)2541･FAX03(5248)2542
■名古屋営業所
〒485-0012　愛知県小牧市小牧原新田1660-3-D　TEL0568(42)6015･FAX0568(71)9656
■大阪営業所
〒567-0072　大阪府茨木市郡5丁目31-54　TEL072(641)8711･FAX072(641)8712
■福岡営業所
〒839-0814　福岡県久留米市山川追分１丁目4-4　TEL0942(45)3808･FAX0942(45)3809
■北海道エリア特約店
〒064-0919　北海道札幌市中央区南十九条西６丁目３番５号　TEL011(531)1315･FAX011(531)1346
エア・ウォーター・ハローサポート株式会社

〔１〕　まえがき

この取扱説明書は、フルリクライニング車椅子ＲＪ－３６０(以下、本文中では本機とする。)をご使用いただくためのガイドブックです。この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解されたうえで、実際にご使用くださいますようお願い致します。

本機の設計内容に関する不断の研究改良の結果、この取扱説明書の内容の中に、お買い上げの製品と詳細において異なる場合があります。お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容につきましてご質問がございましたら、ご購入先あるいは弊社各営業所までご遠慮なくお問い合わせください。

安全に関する注意

本機を安全にご使用いただくには、正しい操作と定期的な保守が必要です。

この取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、充分理解されてからご使用いただくようお願い致します。

また、この取扱説明書に示されている操作方法及び、安全に関する注意事項は、本機を指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。この取扱説明書に記載されていない使用方法は、絶対に行なわないでください。

〔２〕　表示記号のご説明

本体及びこの取扱説明書に表示されている記号及び言葉は下記の意味があります。充分にご理解のうえ、安全にご使用ください。

⚠ ：　注意することを表しています。
⦸ ：　禁止事項を表しています。
❗ ：　お客様への要請事項を表しています。

⚠危険　：　お取り扱いを誤った場合、直ちに重大事故につながる可能性が多分にあります。

⚠警告　：　お取り扱いを誤った場合、重大事故につながる可能性があります。

⚠注意　：　お取り扱いを誤った場合、ケガをする可能性及び本体の故障につながる可能性があります。

注意　：　本機の故障を防止するための注意事項や、本機をより快適にご使用いただくためのアドバイス等が書かれてあります。

なお、本体に貼付けされているシール類、及び本書の紛失あるいは損傷等がありましたら、ご遠慮なくご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。

〔３〕　フルリクライニング車椅子 ＲＪ－３６０について

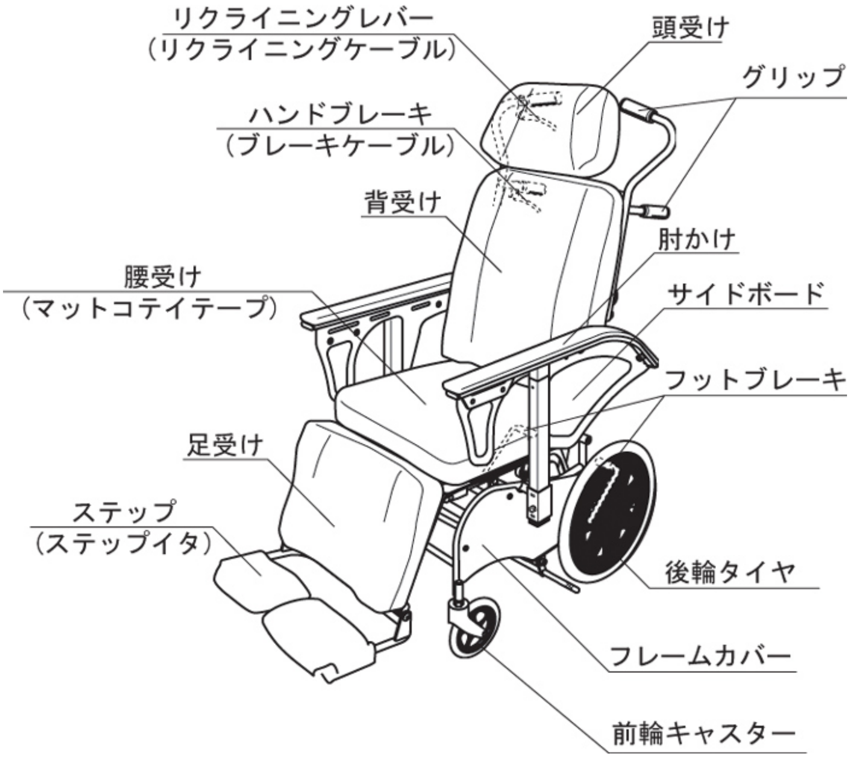
〔３.１〕　使用目的

本機は、仮眠から外出まで使える、フルリクライニング車椅子です。

〔３.２〕　特長

- 背受けと腰受けの連動が、効果的な体圧分散を実現し、床ずれを防止します。
- リクライニング時に感じる背中のズレや圧迫感を背受けのスライドにより軽減します。
- 足受けを、背受け連動リクライニングと単独角度調節とに切り替えることができますのでご利用者に最適な座位をお選びいただけます。
- 座面には、専用のゲルクッションを使用していますので、床ずれ防止、座位保持効果があり、長時間座っていても快適に過ごせます。
- 頭受けは、前後、上下、角度の調整ができますので、ご利用者にあわせた最適な位置を選べます。
- 手元での制動用ハンドブレーキ、足踏みによるパーキング用フットブレーキを設けています。
- 足受け及びステップが収納できます。
- 背受け部分が折りたためコンパクトに収納できます。
- 肘かけは、高さが６段階に調節でき、肘かけ下のサイドボードがご利用者の手足の挟み込みを防ぎます。
- 後輪タイヤはノーパンクタイヤを採用していますので、メンテナンスが不要です。

〔３.３〕　各部の名称

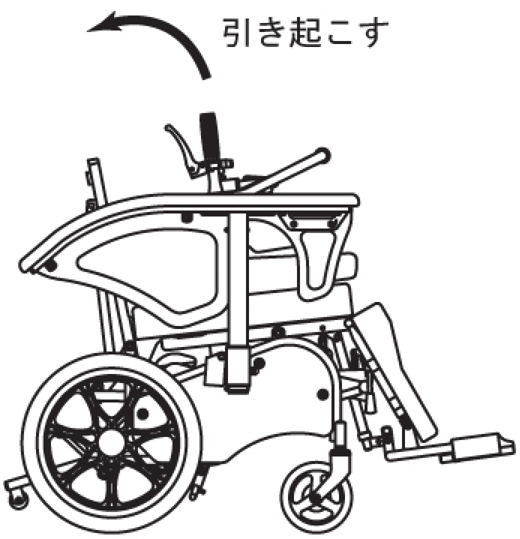


〔４〕　ご使用前の準備

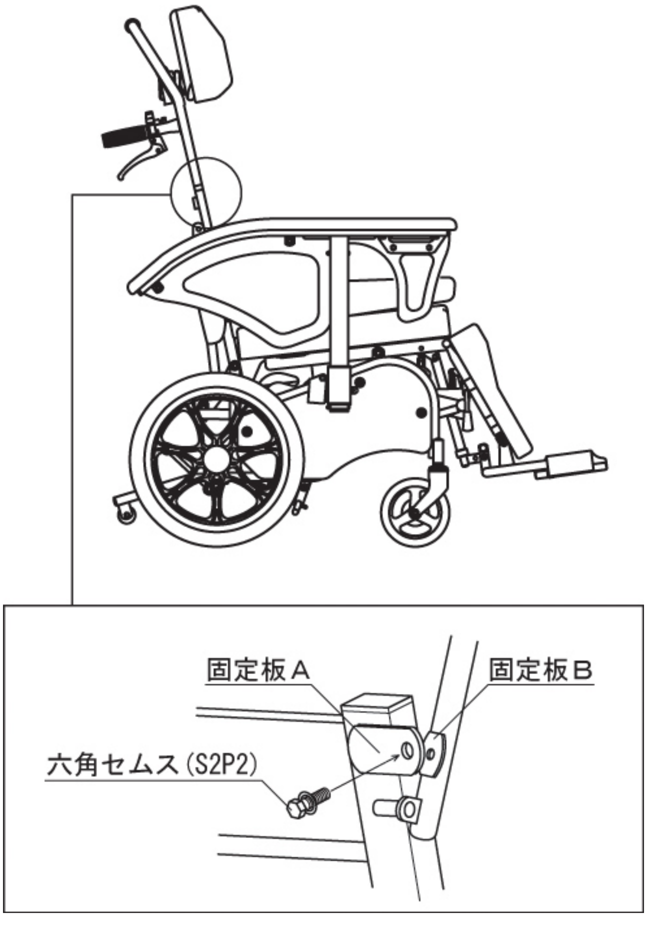
〔４.１〕　背受けの固定方法

・ 本機は、背受けを少しリクライニングさせ、折りたたんで出荷しております。背受けを起こしてしっかりと固定し、背受けシートを取り付けてご使用ください。
・ 背受けの固定方法を以下に示します。収納の際は、逆の手順により背受けを折りたたみますとコンパクトに収納できます。

① 背受け上部を引き起こします。このときにハンドブレーキ・リクライニングレバーのワイヤーを挟まないように注意してください。また、本機は背受けを少しリクライニングさせて出荷しております。（リクライニング操作については６.４章参照）



② 固定板Ａと固定板Ｂの穴位置を合わせ、付属の六角セムス(S2P2)により締め付けてください。（左右２ヶ所）
付属品　工具袋：1ヶ
　　　　スパナ：1ヶ
　　　　六角セムス(S2P2)：２ヶ

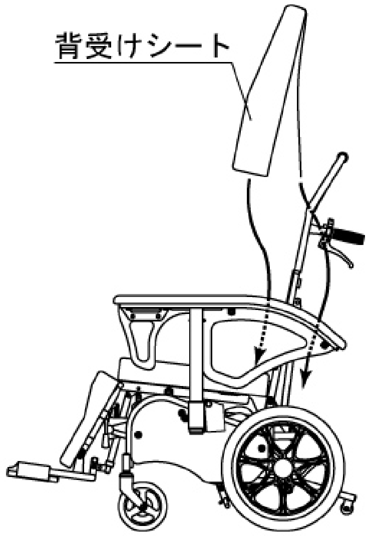


③ 押し手を持ちながら、本機を軽く前後に動かし、背受けがしっかりと固定されていることを確認してください。

④ 背受けシートを取り付けます。

ｉ)ツマミを取り外し、頭受けを上方に引き抜きます。

ⅱ)背受けシートを取り付けます。



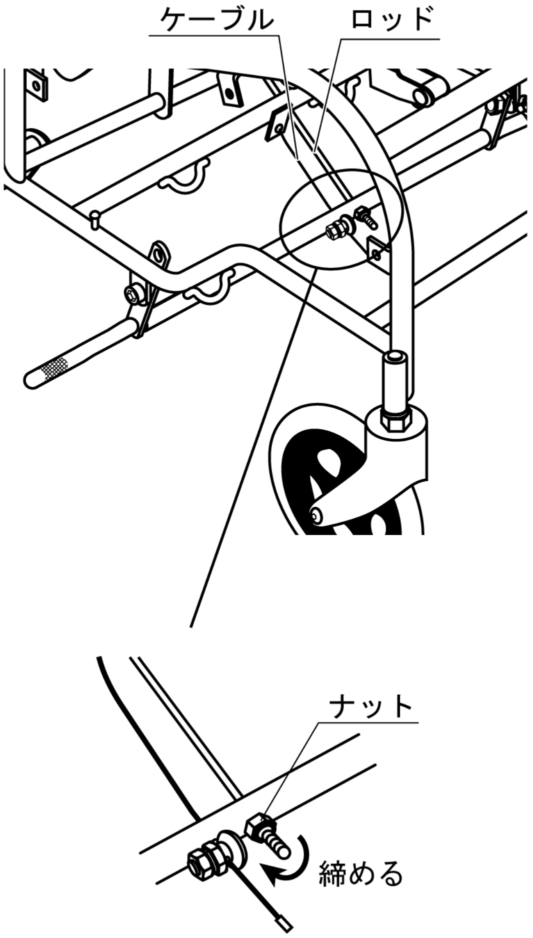
ⅲ)ファスナーを上げ、頭受けを差し込んで
ツマミで固定します。

・ なお、本機は、「足受け単独のリクライニング」仕様に設定して出荷しております。
（設定の切り替えについては６.４章参照）

〔4.2〕　フットブレーキの確認・調整

・ フットブレーキの効きが悪いときには、次の手順で調整してください。

① 付属のスパナでナットを締め付けてください。ブレーキ力が増します。



② 後輪タイヤには、多少の揺れがあります。回転させ、干渉していないか確認してください。

⚠注意	調整後は、必ずフットブレーキの効き具合を確認してください。

〔５〕　ご使用の前に

〔５.１〕　安全上の注意

・ 本機は介護用車椅子です。

…ご使用の際の操作は、すべて介護者が行なうように設計されています。

・ 必ず、下記の注意事項をお守りください。

…お守りいただけない場合、重大事故につながる可能性があります。

・ 必ず、下記の注意事項を充分にご理解のうえ、各使用方法に従って使用してください。

・ 下記の注意事項以外であっても無理な使用はおやめください。

…事故や故障の原因になります。

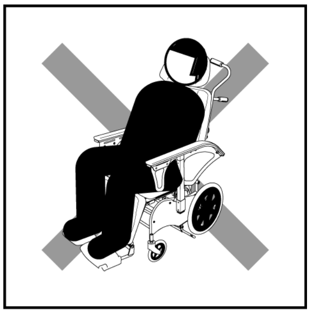
安 全 上 の 注 意

警告	
	ご利用者の乗り降りは、必ず介護者が充分な介助を行い、安全に行なってください。ご利用者お一人では絶対に行なわないでください。
	肘かけやブレーキなどの操作は、必ず介護者が安全を確認のうえ行なってください。
	介護者は、ご利用者を乗せたまま本機から離れないでください。
	本体に貼り付けてあるシールは安全上、及び本機を正しくご使用いただくために非常に重要な内容ですので必ずお守りください。
	ご利用者の乗せかえは、傾斜の少ない場所で必ずフットブレーキをかけてから行なってください。
	ご利用者が本機に乗っているときは、必ず肘かけを上げ、肘かけのロックがかかっていることを確認してください。 …ロックが確実にかかっていないと、転倒やケガの原因になります。
	介護者は、本機に乗ったり寄りかかったりして介助しないでください。
	背受けのポケットに１ｋｇ以上の重いものを入れないでください。 …過度の荷物は破損や、バランスを崩し、転倒の原因になります。

⚠警告

本機の耐荷重は１００kgです。１００kgを超える方にはご使用にならないでください。

100kg未満



100kg超

ご利用者が乗っている状態で本機を持ち上げての移動はおやめください。

本機は一人用に設計されております。お子様といえども、必ずお一人の方にご使用ください。

小さなお子様や、取扱説明書の内容を理解できない方には操作させないでください。また、本機を本来の使用目的以外では使用しないでください。

・・・事故や故障の原因になります。

本機の修理・改造はしないでください。

・・・思わぬ事故につながる恐れがあります。

・・・修理・改造が必要な場合には、ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。

介護者は、ご利用者の衣服や身体が後輪タイヤ、前輪キャスター及び本体フレームに挟まれていないこと、確実に座面に座っていることを確認してから操作してください。また走行中もご利用者の身体が後輪タイヤ、前輪キャスター及びフレームに挟まれないよう、注意してください。特に足は足受けやステップから落ちることのないように注意してください。ご利用者が乗っているとき、介護者は常に安全を確認しながら、操作、走行をしてください。

⚠注意

本機を使用する場合には、周囲の安全を充分に確認してください。
…特にリクライニングさせるときには、足場が安定しているかを確認してください。

移動時にスロープなどの傾斜を通るときには、上るときも下るときも介護者の方が傾斜の下側になるようにしてください。本機が下側になるような状態での使用は危険ですのでしないでください。

段差や凸凹のある路面などを走行するときには、前のめりにならないように注意して操作してください。

フットブレーキをかけて本機を駐車する場合は、必ず傾斜の少ない平坦な場所をお選びください。
…傾斜のある場所での駐車は転倒などの重大な事故を招く恐れがあります。

車輪に異物が巻き付いた状態では使用しないでください。異物が巻き付いたときは完全に除去し、車輪取付部のナットに緩みがないことを確認してからご使用ください。

踏切などの溝を越えるときは、前輪キャスターを挟み込まないよう注意してください。

傾斜地での走行には充分に注意してください。

走行中身体を乗り出したりして、走行中の安定性を損なうことのないように注意してください。

前輪キャスター及び後輪タイヤは消耗品です。ガタガタしはじめたり、タイヤ表面にひび割れや劣化が現れたら、ご使用をやめて交換をしてください。

ステップの上で立ち上がらないでください。
…転倒する恐れがあります。

⚠注意

🚫	本機の近くでは、熱器具は使わないでください。 ・・・火災や変質の原因となります。
🚫	自動車内、直射日光の当たる場所、あるいは高温多湿になる場所への放置はおやめください。 ・・・変形、変色、劣化の原因となります。

〔5.2〕　使用前点検

・　ご使用になる前には、必ず毎回点検をしてください。
・　使用前点検の項目を全てクリアした場合にだけご使用ください。
・　ひとつでもクリアできない項目があった場合には、使用せずにご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。

使用前点検項目		処理方法
背受けはしっかりと固定されていますか？ 締め付けが緩いとき→ No	→ No	固定用の六角セムスをしっかりと締め付けてください。 （４.２章 参照）
↓ OK		
前輪キャスター・後輪タイヤにガタはありませんか？ あるとき→ No	→ No	前輪キャスター・後輪タイヤの固定部の緩みや劣化が考えられます。ご使用をやめ、ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。
↓ OK		
フットブレーキにより後輪タイヤがロックしますか？ 後輪タイヤが回転する場合→ No	→ No	調整してください。（４.２章 参照）
↓ OK		
ハンドブレーキの効きは充分ですか？ ブレーキの効きがあまいとき → No	→ No	ご使用をやめ、ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。
↓ OK		
肘かけを上げた際、肘かけが完全にロックされていますか？ ロックがかからないとき → No	→ No	ご使用をやめ、ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。
↓ OK		
人が乗っていない状態でリクライニングさせて、異音がありませんか？ あるとき → No	→ No	ご使用をやめ、ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。
↓ OK		
使用前点検　OK！		

注意

以上の点検項目に記載されていること以外でも、おかしいなとか、今までと違うような気がしたときには絶対に使用せず、ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。お客様の判断で本取扱説明書に記載されていない内容の処理をされた場合には、責任を負いかねます。

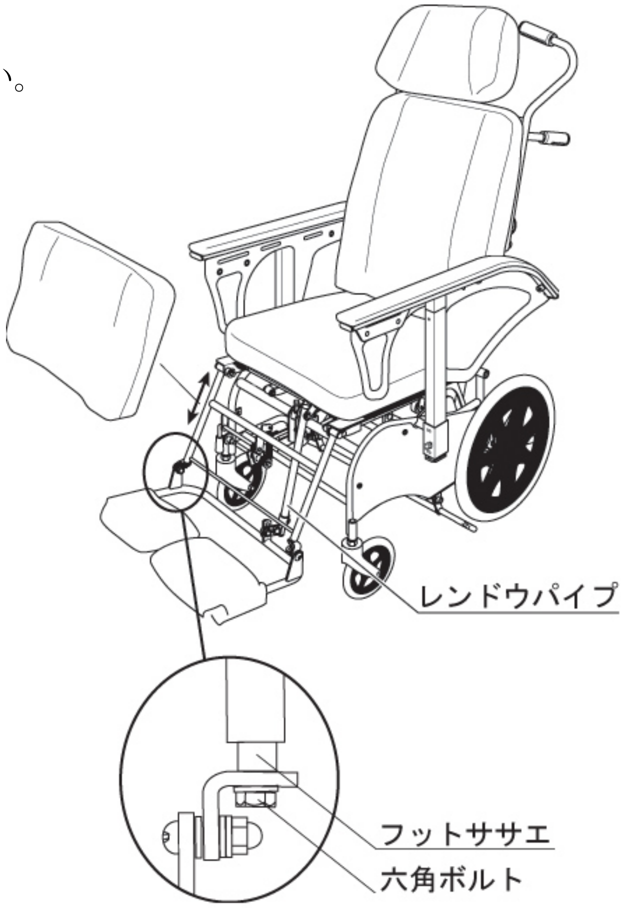
〔６〕　使用方法

〔６.１〕　ステップの高さ・角度調整

・ 本機は、ステップの高さを調整することができます。

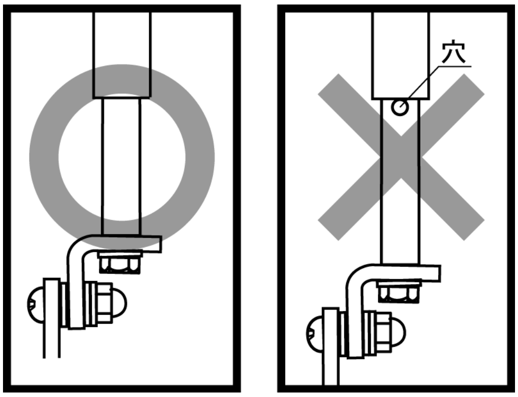
① 左右の六角ボルトを付属品のスパナで緩め、ステップを上下させご利用者の足の位置に合わせます。

② 左右の六角ボルトを締め付けてください。



⚠注意

ステップの確実な締め付けとレンドウパイプの抜けを防ぐために、フットササエには目印の穴があいています。この穴が見えない範囲で調整してください。

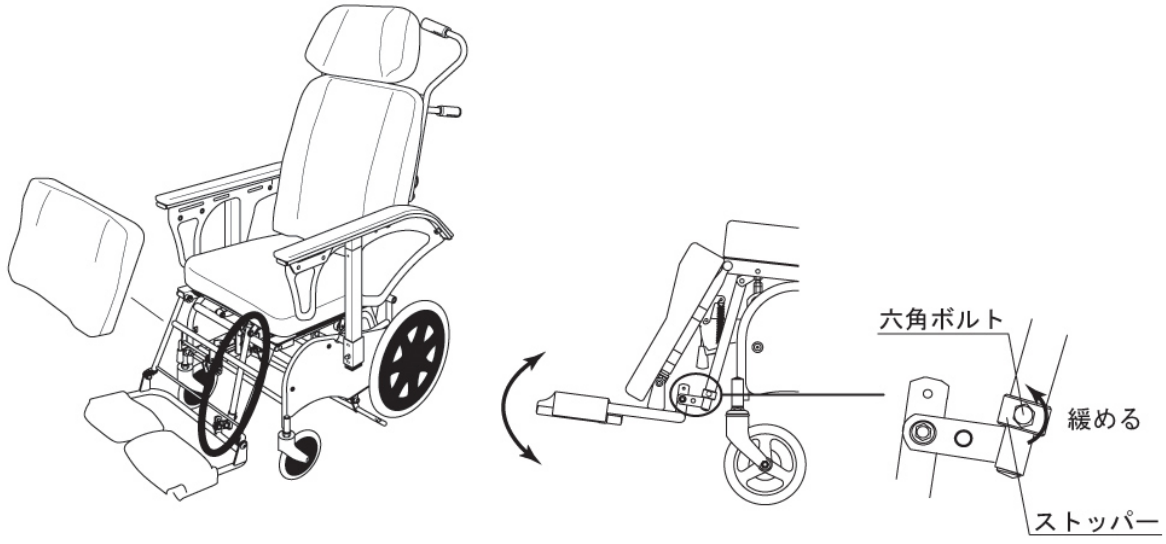


⚠注意	締め付けが不完全な状態で使用されますと、思わぬ事故につながる恐れがあります。ステップが固定できない場合は、ご使用をやめ、ご購入先あるいは弊社営業所までご連絡ください。

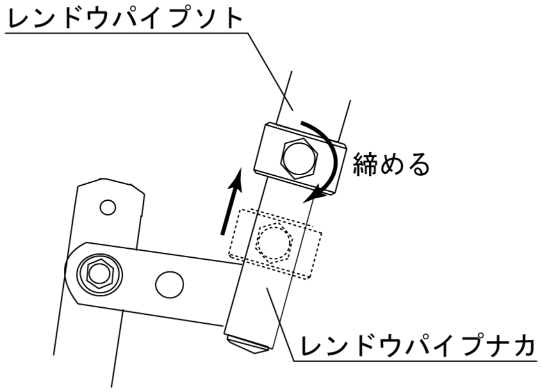
注意	ステップの高さを調整すると角度も変化します。高さを調整した際は必ず角度調整を行なってください。 （次項参照）

・ 本機は、ステップの角度を調整することができます。

① ストッパーの六角ボルトを付属品のスパナで緩め、ステップを適当な角度に設定します。



② ストッパーをレンドウパイプソトに当てた状態で六角ボルトを締め付けてください。締め付けの強さは、六角ボルトがレンドウパイプナカに当たった状態から半回転（180度）増し締めするのを目安にしてください。

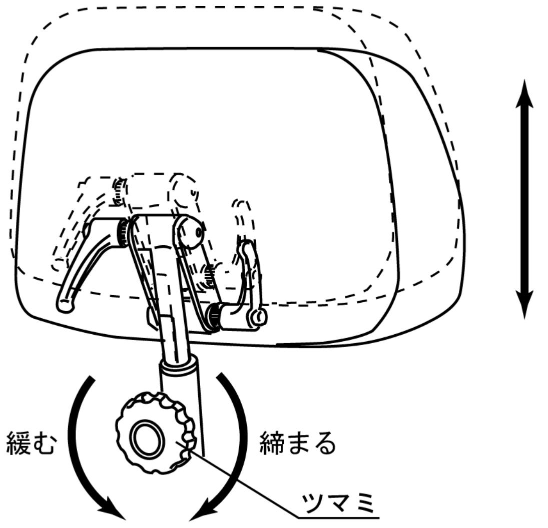


⚠注意	締め付けが不完全な状態で使用されますと、思わぬ事故につながる恐れがあります。ステップの角度が固定できない場合は、ご使用をやめ、ご購入先あるいは弊社営業所までご連絡ください。

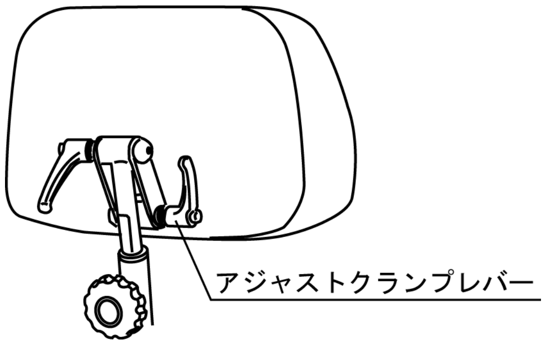
〔６.２〕　頭受けの調整

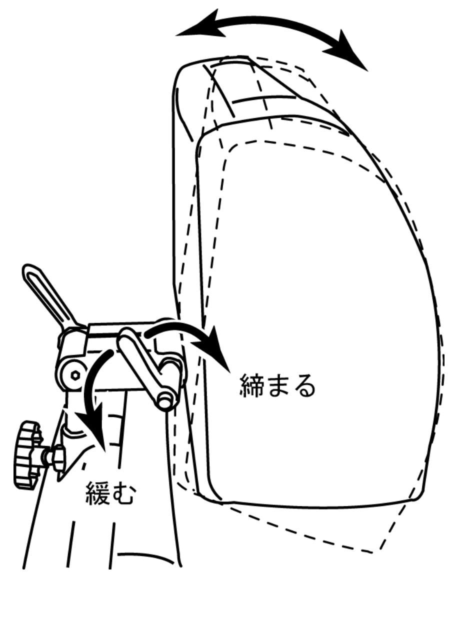
・ 頭受けは①上下②角度③前後の調整が可能です。

① 背受け後ろのツマミを緩めると上下調整ができます。調整後はツマミを締め付け固定します。

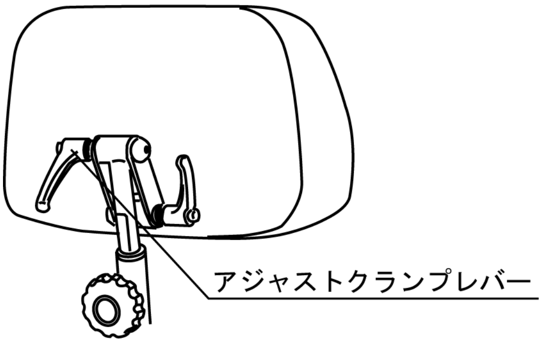


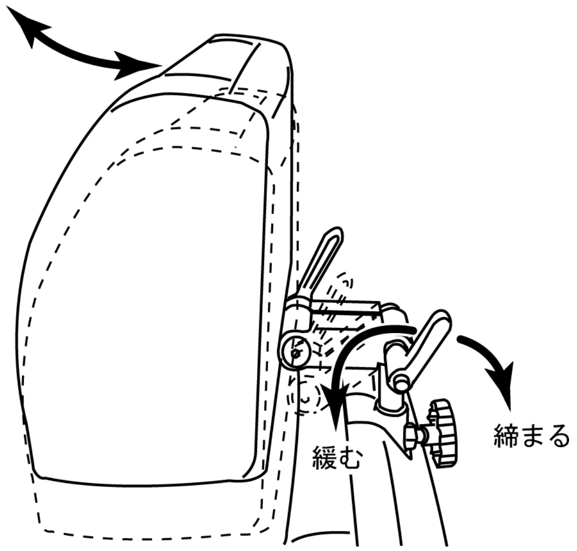
② 頭受け後ろの右側のアジャストクランプレバーを操作し、締め付けを緩めると角度調整ができます。調整後はアジャストクランプレバーを操作して締め付け固定します。（アジャストクランプレバーの操作方法は次ページ参照）



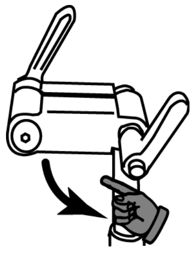


③ 頭受け後ろの左側のアジャストクランプレバーを操作し、締め付けを緩めると前後調整ができます。調整後はアジャストクランプレバーを操作して締め付け固定します。（アジャストクランプレバーの操作方法は以下参照）



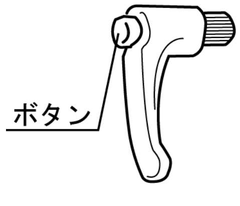


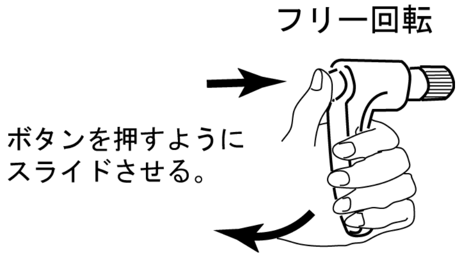
注意	頭受けの前後調整をすると高さと角度も変化します。前後調整と合わせて上下、角度の調整を行なってください。

⚠注意	頭受けの調整の際は、指を挟まないように注意してください。 

アジャストクランプレバーの操作方法

レバーのみを回したときには、ネジも一緒に回りますので締め付けたり緩めたりできます。
ボタンを押すようにレバーをスライドさせると、レバーだけがフリー回転する状態になります。
レバーを回しやすい位置に動かしてから
確実に操作してください。



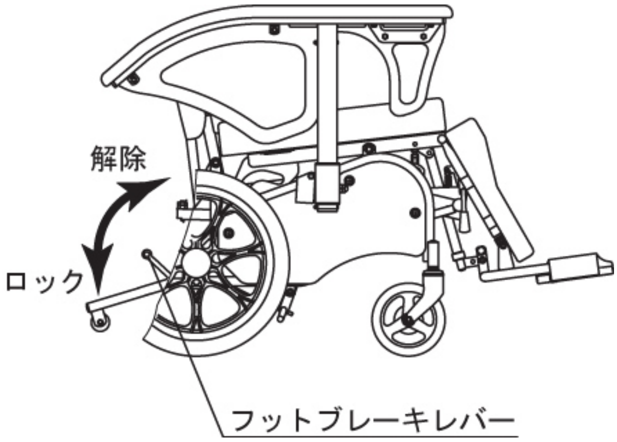


〔６.３〕　ブレーキ操作

・ 本機には、走行時に使用するハンドブレーキと駐車時に使用するフットブレーキがあります。

フットブレーキの操作方法

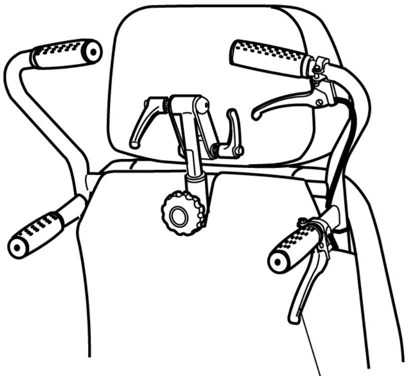
・ 足元にあるフットブレーキレバーの左右どちらかを踏み込むと後輪タイヤにブレーキがかかります。
・ フットブレーキレバーを上方に跳ね上げるとブレーキが解除されます。



⚠警告	フットブレーキをかけて本機を駐車する場合は、必ず傾斜の少ない平坦な場所をお選びください。 ・・・傾斜のある場所での駐車は転倒などの重大な事故を招く恐れがあります。

ハンドブレーキの操作方法

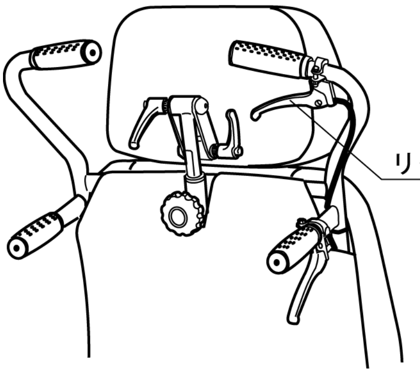
・ 右側下方の押し手のハンドブレーキレバーを握ると後輪タイヤに制動ブレーキがかかります。ハンドブレーキレバーの握る強さによりブレーキの効きをコントロールできます。
操作方法は、自転車のブレーキと同じです。



⚠注意	グリップの根元にシールで表示しています。リクライニング操作用のレバーと間違えないようにしてください。

〔6.4〕　リクライニング操作（足受けの連動・単独の切り替え）

・ 右側上方の押し手のリクライニングレバーを握るとリクライニングができます。
レバーを握りながら背受けの角度を変えてください。
リクライニングレバーを離した位置で背受けが保持されます。

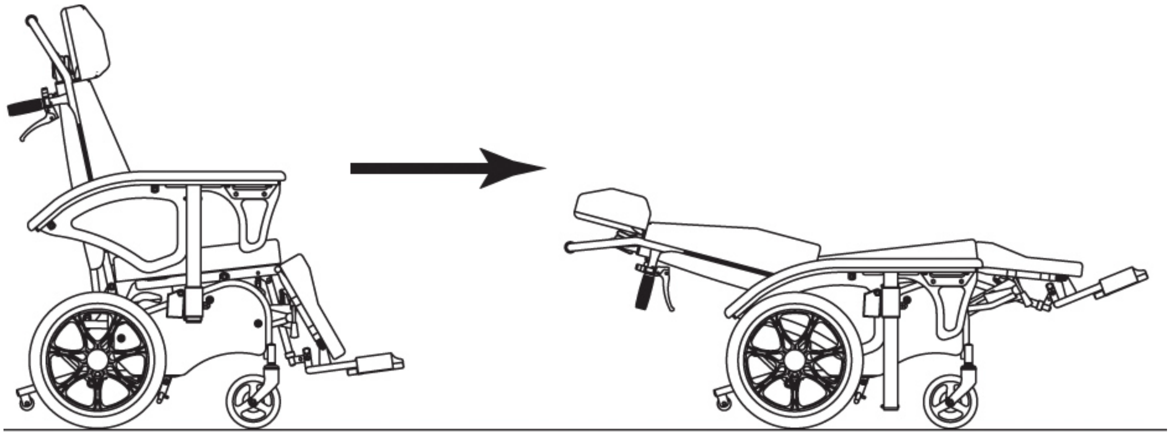


⚠注意	グリップの根元にシールで表示しています。ハンドブレーキレバーと間違えないようにしてください。

⚠警告	
❗	リクライニング操作は、必ずフットブレーキをかけてから行なってください。
❗	リクライニングによりご利用者の状態を変化させる場合には、ご利用者の様子を見ながらゆっくりと操作してください。少しでもご利用者に異常が見られたときには、すぐにその操作をおやめください。
❗	リクライニング状態から元に戻す場合には、ご利用者の腕を肘かけと背受けの間に挟まないようにして操作してください。
❗	関節などに痛みが生じやすいご利用者（リウマチや骨粗しょう症の重度の場合など）を初めてリクライニングさせる場合には、慎重にゆっくりと操作してください。また、事前に医師やセラピスト（ＰＴ・ＯＴ）などの専門家にご相談ください。

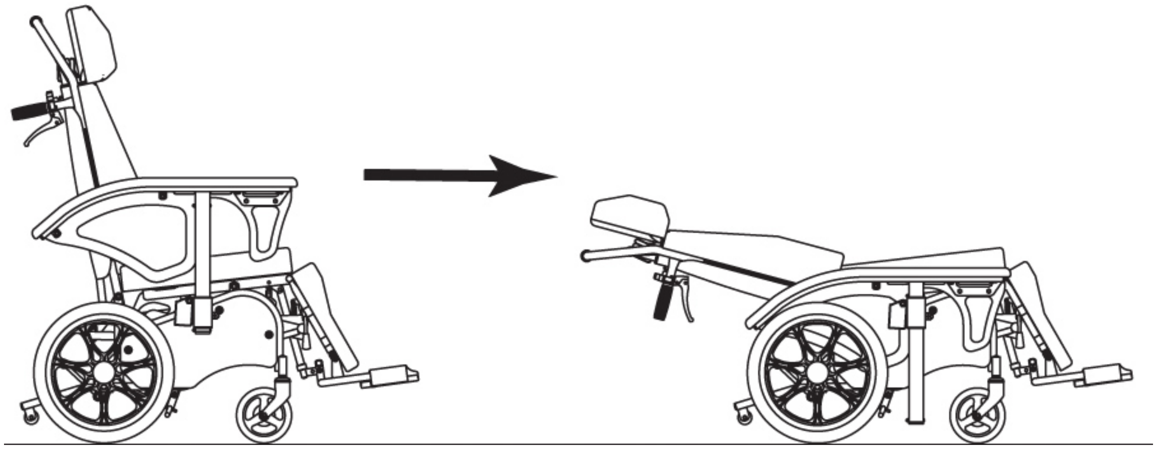
足受け連動設定のリクライニング

・ 体圧分散に最適なタイミングで、背受けの角度変化に足受けが連動して動きます。
背受け下部にある切替えプランジャを連動の位置にしてご使用ください。
（切り替えプランジャの操作方法は以下参照）



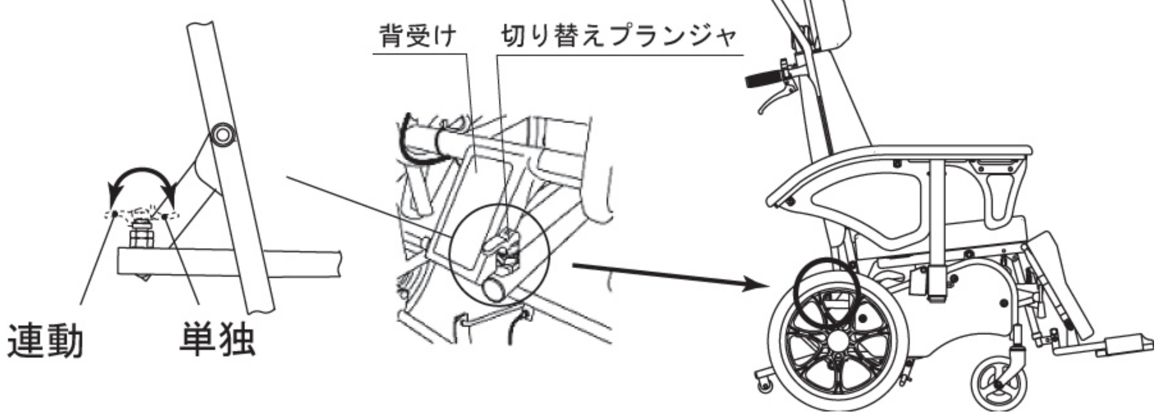
足受け単独設定のリクライニング

・ 背受けの角度にかかわらず、足受けの角度をお好みの位置に手動で調節できます。
背受け下部にある切り替えプランジャを単独の位置にしてご使用ください。
（切り替えプランジャの操作方法は以下参照）



切り替えプランジャの操作方法

切り替えプランジャは機体の後ろにあります。

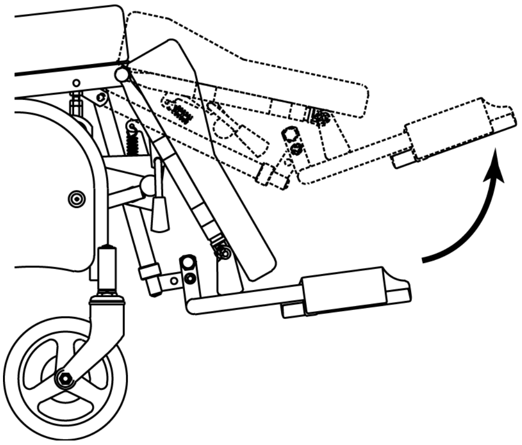


⚠注意	切り替えプランジャを操作するときは、必ず背受けを完全に起こしてください。

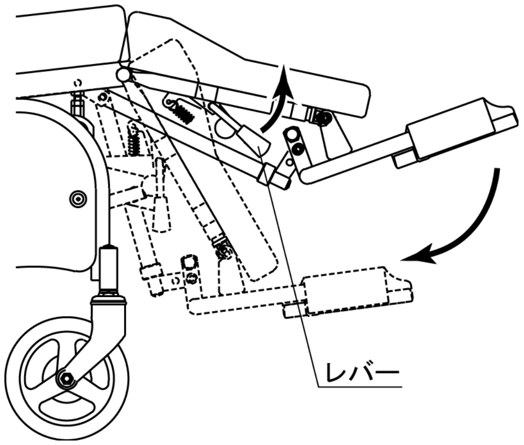
〔6.5〕　足受けの単独角度調節

・ 前項〔6.4〕章の足受け単独設定のリクライニングのときは、リクライニングの角度に関係なく足受けの角度が調節できます。足受けをそのまま持ち上げると4段階に角度を調節できます。戻すときは、足受けを支えながらレバーを図の矢印の向きに操作すると角度保持のロックが解除され最低位に戻ります。

持ち上げるとき



戻すとき

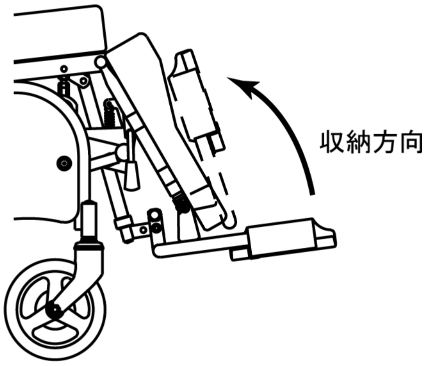


⚠注意	足受け連動設定のリクライニングに切り替えるために、切り替えプランジャを操作するときは、必ず背受けを完全に起こし、足受けの角度を最低位に戻してから行なってください。

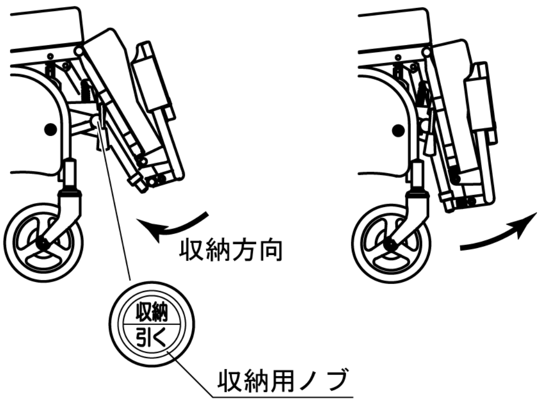
〔６.６〕　ステップ・足受けの収納操作

・　本機は、ステップおよび足受けを収納することができます。

ステップは図のように跳ね上げて折りたたみます。



足受けの角度が最低位のとき、足受け裏側にある収納用ノブを引っ張ると足受けの固定ロックが解除されるので、そのまま押し込むと収納できます。足受け連動設定のリクライニング仕様のときは、背受けを完全に起こしたときに収納できます。足受け単独設定のリクライニング仕様のときには、リクライニングの角度に関係なく収納できます。



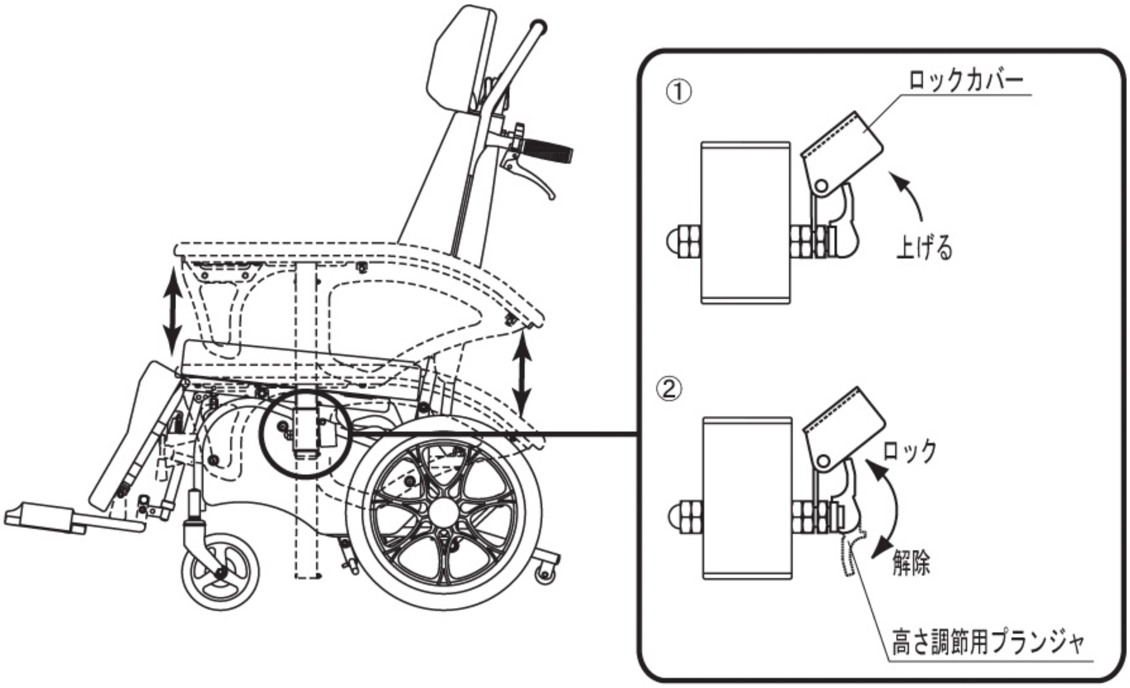
⚠注意	固定ロックが不完全な状態のまま使用されますと思わぬ事故につながる恐れがあります。 固定ロックが作動しない場合は、ご使用をやめ、ご購入先あるいは弊社営業所までご連絡ください。

〔６.７〕　肘かけの高さ調節

・　本機は、肘かけの高さを調節することができます。

片方の手で肘かけを持って、もう片方の手で本体側面にある①ロックカバーを上げて、②ロックカバーの中の高さ調節用プランジャを図の方向に操作して高さを調節してください。調節後は肘かけが確実にロックされていることを確認してください。肘かけの高さ調節は、フットブレーキをかけた状態で行なってください。

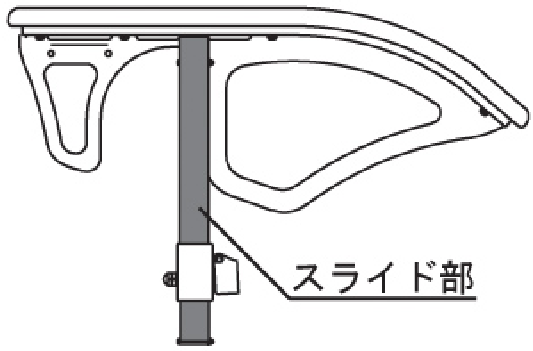
注意	高さ調節をする際は、ご利用者の手を挟まないよう、肘かけを持ち、ゆっくり操作してください。



⚠警告	移動の前には、肘かけを上げ、肘かけのロックがかかっていることを確認してください。 …ロックが不完全なまま、ご利用者を乗せて移動するとご利用者が本機から転落する恐れがあります。

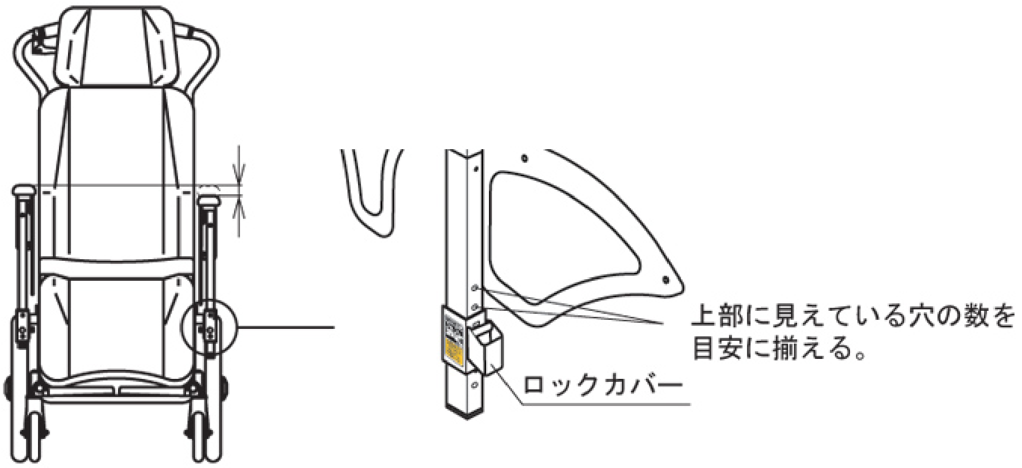
⚠危険	肘かけの高さ調節後は肘かけが確実にロックされていることを確認してください。 …ロックが不完全なまま使用されると、重大な事故を招く恐れがあります。

肘かけのスライド部にはゴミやホコリ等が付着しないよう注意してください。



⚠警告	肘かけのスライド部にゴミやホコリ等が付着したまま使用すると、ロックが完全にかかっているかどうか分からなくなる可能性があり、重大な事故を招く恐れがあります。

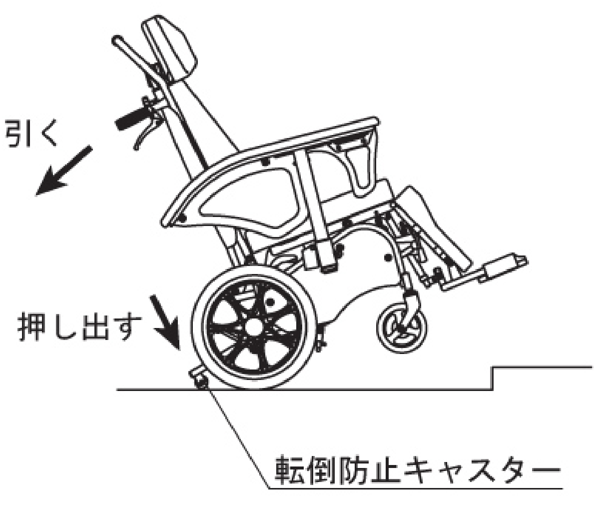
左右の肘かけの高さを揃えるにはロックカバー上部に見えている穴の数を同じにしてください。



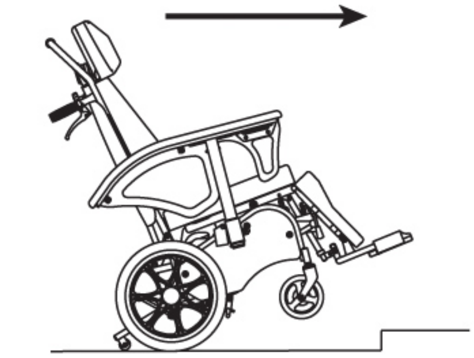
〔6.8〕　段差乗り越え方法

・ 本機で移動中に段差を乗り越える場合は、以下の手順で行なってください。

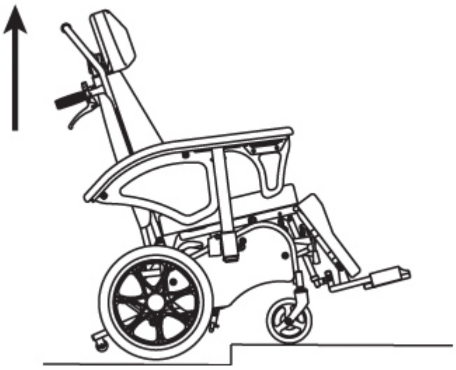
① 本機を段差に対して直角に近づけ転倒防止キャスターの上部を前へ押し出すように踏み、同時に押し手を後ろへ引っぱるように押し下げ、前輪キャスターを浮かせてください。（女性や力の弱い方などは少しリクライニングさせて操作すると楽に前輪キャスターを持ち上げることができます。）また、このとき転倒防止キャスターが地面に接するようにすると移動が楽に行なえます。



② そのまま前に進み、段上に前輪キャスターを乗せ後輪タイヤが段差に当たるまで進んでください。



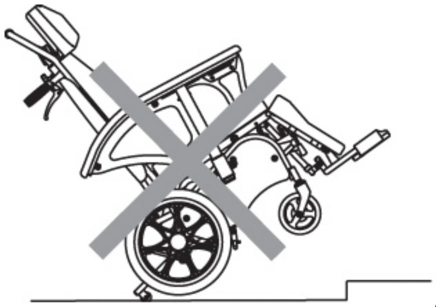
③ 押し手を引き上げ、後輪タイヤを浮かせ段上に乗せてください。



⚠警告

前輪キャスターを持ち上げるときは必ず後輪タイヤは地面に接地させた状態のままで行なってください。

・・・転倒防止キャスターのみで本機を持ち上げると本機の故障及び事故の原因になります。



⚠警告

❗	段差を降りるときには逆の手順で行なってください。
❗	操作するときはご利用者に声をかけ、様子を見ながらゆっくりと行なってください。
❗	後ろ（後輪タイヤ）を持ち上げすぎないでください。 ・・・ご利用者が本機から転落する恐れがあります。
❗	坂道では、登るときは前向きで、下るときは後ろ向きで走行してください。 ・・・ご利用者が本機から転落する恐れがあります。

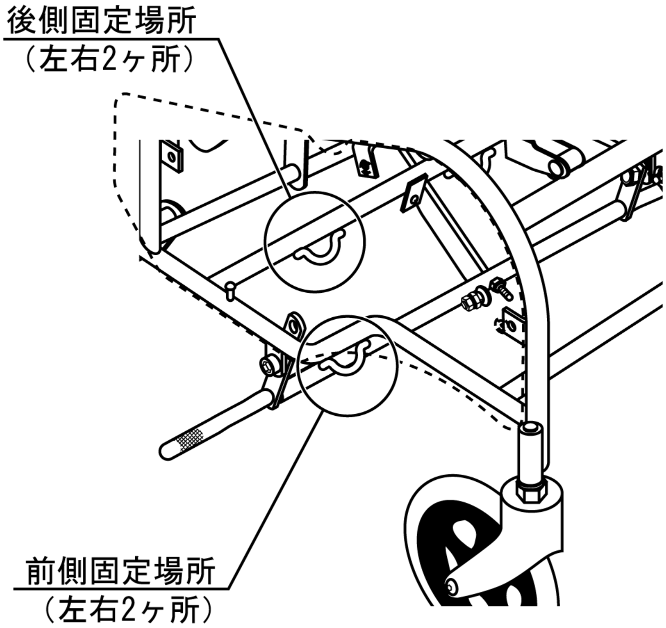
〔6.9〕　車載方法

ブレーキをかけて動かないことを確認してから車椅子用の固定フックをフレーム部の固定場所にかけ、固定装置を操作して本機を固定します。固定後は本機がしっかりと固定され固定フックにたるみがないことを確認してください。また、左右同じ位置にフックをかけてください。

⚠警告	本機がしっかりと固定されているか確認してください。 ・・・本機がしっかりと固定されていないと車両走行中に本機が動き事故の原因となります。

⚠注意	・急ブレーキ、急加速、急ハンドル等の運転はしないでください。また、悪路の走行時は思いのほか揺れますので速度を極力おとしてご利用者の負担にならないようにしてください。 ・本機の固定状態、安全ベルトの状態、ご利用者の状態等を適時確認してください。

[フック固定場所]



〔７〕　日常のお手入れ

本機による移動介助をいつまでも快適に行なえるよう、使用後には必ずお手入れされることをお勧めいたします。

また、お手入れされるときには同時に各部の点検も行なっていただきますと、トラブルを未然に防ぐこともでき、より安全にご使用いただけます。

お手入れ方法・点検内容は以下の通りです。

〔７.１〕　お手入れ方法

- 本体フレームの汚れは、タオルかスポンジに中性洗剤を含ませ拭き取ってください。拭き取った後は乾いた布で水分を取り除いてください。
- 撥水クロスタイプの場合、ドライクリーニングもしくは水洗い後自然乾燥させてください。そのとき、ステップシート以外（頭，背，腰，足のシート）は、ジッパーを開け、中のクッションを取り出してから洗濯してください。肘かけは、固く絞った布で拭いて汚れを落としてください。
- レザータイプの場合、シートや肘かけの汚れは、タオルかスポンジに中性洗剤を含ませ拭き取ってください。拭き取った後は乾いた布で充分に水分を取り除いてください。

  ･･･硬いもの（たわしなど）や薬品の使用は避けてください。

  ･･･ドライクリーニング、水洗いなどは行なわないでください。
- 消毒は、エタノールによる清拭消毒をお勧めします。これ以外の薬品による消毒は、目立たない場所で試してからご使用ください。

⚠注意	
⃠	熱湯や高温のスチームによる消毒はおやめください。
⃠	中性洗剤以外の薬品を使用してのお手入れは、行なわないでください。 ･･･本機の劣化や故障の原因になります。
⃠	薬品の揮発成分や腐食性ガスが充満する雰囲気での使用や保管はお避けください。 ･･･本機の劣化や故障の原因になります。
❗	本機周辺のものを薬品を使用して洗浄・消毒する場合には、本機に薬品がかからないようにしてください。 ･･･万一本機にかかった場合は、速やかに水道水で洗い流してください。

〔7.2〕　日常点検

- 日常点検の項目を全てクリアした場合にだけご使用ください。
- 何らかの異常がある場合にはご使用にならないでください。
- 以下の処理方法に書かれていない処理はしないでください。

日常点検項目		処理方法
背受けはしっかりと固定されていますか。 締め付けがゆるいとき→ No	→ No	固定用の六角セムスをしっかりと締め付けてください。 (4.1章 参照)
↓ OK		
前輪キャスター・後輪タイヤにガタはありませんか？ あるとき→ No	→ No	前輪キャスター・後輪タイヤの固定部の緩みや劣化が考えられます。ご使用をやめ、ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。
↓ OK		
各部がガタガタしていませんか？ しているとき → No	→ No	ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。
↓ OK		
リクライニングレバーを操作していないのに背受けの角度が変化しませんか？ 変化するとき → No	→ No	ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。
↓ OK		
肘かけは確実にロックできますか？ ロックできないとき→No	→ No	ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。
↓ OK		
日常点検　OK！		

注意

以上の点検項目に記載されていること以外でも、おかしいなとか、今までと違うような気がしたときには絶対に使用せず、ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。お客様の判断で本取扱説明書に記載されていない内容の処理をされた場合には、責任を負いかねます。

〔7.3〕　消耗品・交換品

- 日常のお手入れ及び日常点検をされたときには、下記の部品が交換時期になっていないかをご確認ください。
- 交換時期に該当するものについては、ご購入先あるいは弊社までご連絡のうえ、お早めに交換してください。

品名	交換時期
前輪キャスター	≪⚠注意≫ しっかりと固定されているのにガタガタしはじめたり、タイヤ表面にひび割れや劣化が現れたときは交換をお願いします。転倒やケガの原因となります。
後輪タイヤ	≪⚠注意≫ しっかりと固定されているのにガタガタしはじめたり、タイヤ表面にひび割れや劣化が現れたり、ミゾがなくなったときは交換をお願いします。転倒やケガの原因となります。
ブレーキケーブル	≪⚠注意≫ インナーがのびてしまったり、アウターの破損がひどいときは交換をお願いします。ブレーキの効きに影響を及ぼし、事故やケガの原因となります。
リクライニングケーブル	・ インナーがのびてしまったとき ・ アウターの破損がひどいとき
各マット類	・ 劣化したり、ほつれ、切れ目が現れたとき ・ ひどく汚れてきたとき
マットコテイテープ	・ 劣化、破損したとき ・ 接着力が弱くなったとき
肘かけ	・ 変形、劣化、破損したとき
サイドボード	・ 変形、劣化、破損したとき
フレームカバー	・ 変形、劣化、破損したとき
転倒防止キャスター	・ 劣化、破損したとき
ステップイタ	・ 劣化、破損したとき
グリップ	・ 劣化、破損したとき
ボールプランジャー ※内部構造品	・ ステップを収納したときに自重で落ちてくるとき

注意

交換時期を過ぎても使用していると、快適な介護ができないだけでなく、思わぬ事故につながる恐れがあります。交換時期に該当する部品がある場合には、お早めに交換をしてください。

〔８〕　トラブルシューティング（異常な場合の処理）

・ 下記以外のトラブル（異常）、原因の場合や下記の処置では解決しなかった場合には、ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。
・ トラブル（異常）が解決するまでは、絶対に使用しないでください。

トラブル（異常）の内容	主な原因	処置
本機がガタガタする。	組み付け部のゆるみ 本機の取り付け不良	ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。
前輪キャスターがガタガタする。	固定部のゆるみ	ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。
	前輪キャスターの劣化	新しい前輪キャスターに交換をしてください。
後輪タイヤがガタガタする。	固定部のゆるみ	ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。
	後輪タイヤの劣化	新しい後輪タイヤに交換をしてください。
ブレーキが効かない。	後輪タイヤの磨耗 後輪タイヤのガタつき	ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。
リクライニング操作ができない。		ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。
肘かけがロックできない		ご購入先あるいは弊社各営業所までご連絡ください。

〔９〕　ご使用期間とアフターサービスについて

●ご使用期間について

本機は、標準的な使用環境と使用条件下で、取扱説明書にしたがって正しく使用した場合の標準使用期間※注１を８年と定めています。この期間を超えて使用されますと、機能部品はもとより主要構造材も、経年劣化により破損する恐れが出てきます。使用期間が８年を超えた製品については、弊社同等製品への買い替えをお勧めいたしますが、引き続いての使用をご希望される場合は、必ず弊社各営業所にご連絡のうえオーバーホール※注2注3を受けてから使用してください。

詳細につきましては弊社各営業所までお問い合わせください。

注１：標準使用期間と保証書に記された無償修理の保証期間とは異なるものです。

注２：オーバーホールは、その後の無償修理の保証を約束するものではありません。

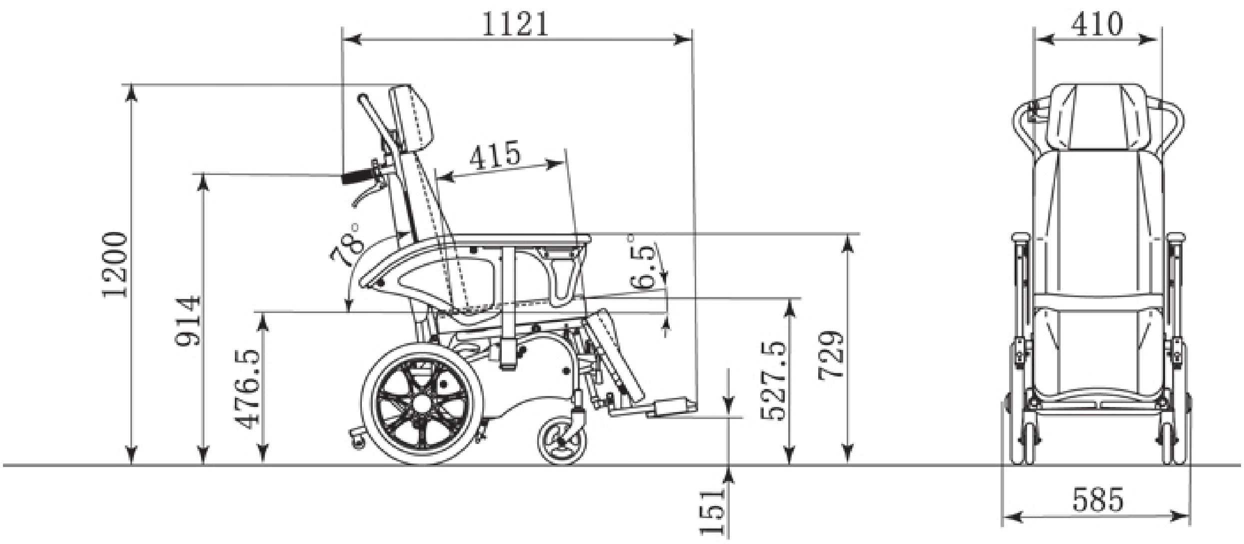
注３：お客様の強いご希望で、使用期間終了後オーバーホールを受けずに本機を使用される場合は、本機を使用中に発生した、いかなる不具合ならびに事故に対して、弊社はその責を負いません。

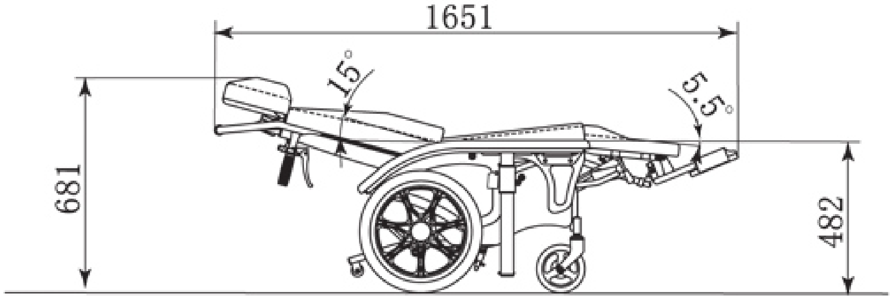
●修理を依頼されるときには

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、再度ご点検のうえ、なお異常がある場合、ご購入先または記載の弊社各営業所までご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容
ご住所・ご氏名・電話番号 商品名・型番・製造番号・ご購入先・お買い上げ日 故障、または異常の内容（できるだけ詳しくお願いいたします。）

〔１０〕　仕様





（単位：ｍｍ）

座面角度	６．５°～１９．５°（地面に対し）
背受け角度	７８°～１５°（地面に対し）
重量	レザータイプ：３５．５Kg 撥水クロスタイプ：３５Kg
耐荷重	１００ｋｇ
前輪キャスター	６インチ
後輪タイヤ	１６インチ